# 鴨川市地域公共交通会議 令和元年度第６回会議

# 会　議　録

日時：令和２年２月 18 日（火）
午後２時 30 分から午後３時 15 分まで
場所：鴨川市役所　４階４００会議室

## 1　会長及び委員

| 役職等 | 所属・職 | 氏　名 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 会　長 | 鴨川市 副市長 | 小柴 祥司 | |
| 副会長 | 鴨川市福祉作業所<br>所長 | 竹井 徹 | |
| | 鴨川日東バス株式会社<br>代表取締役 | 土田 真 | |
| | 有限会社鴨川タクシー<br>代表取締役社長 | 本多 信介 | |
| | 鴨川日東バス株式会社 互助会 | 森 巌 | |
| | 千葉県鴨川警察署<br>交通課長 | 林 保充 | |
| | 千葉県安房土木事務所<br>鴨川出張所　所長 | 矢代 信博 | |
| | 鴨川市校長会<br>会長 | 洲永 康弘 | |
| | 東日本旅客鉄道株式会社<br>安房鴨川駅　駅長 | 遠山　和彦 | |
| | 利用者代表 | 藤本 文子 | 公募委員 |
| | 利用者代表 | 手塚 治代 | |
| | 利用者代表 | 里見　桂子 | |

【欠席委員】

| 役職等 | 所属・職 | 氏　名 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| | 一般社団法人千葉県バス協会<br>専務理事 | 成田 斉 | |
| | 小湊鐵道株式会社<br>事業部企画課係長 | 田中 雄一 | |
| | 国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局<br>首席運輸企画専門官 | 斯波 恭太郎 | |
| | 千葉県総合企画部交通計画課<br>企画調整班　主査 | 池田 絵里子 | |

## 2　事務局

| 所属・職 | 氏　名 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 鴨川市経営企画部まちづくり推進課　課長 | 塚越 均 | |
| 鴨川市経営企画部まちづくり推進課　課長補佐 | 藤代 公貴 | |
| 鴨川市経営企画部まちづくり推進課　住み続けたいまちづくり係 副主査 | 森 和之 | |
| 鴨川市経営企画部まちづくり推進課　政策推進係　主事 | 加藤 貴啓 | |

［配布資料］

・席次表，出席者名簿
・資料１　高速バス実証運行の実績について（速報版）
・資料２　予約制乗合タクシー実証運行計画の見直し案
・資料３　予約制乗合タクシーにおける生活支援サービス導入の検討結果ついて
・資料４　地域公共交通会議において協議が調っていることを証する書類（案）

---

１　**開会**（午後２時30分）　司会　経営企画部まちづくり推進課 塚越課長

・会議の成立、公開及び傍聴者（なし）の報告
・配布資料の確認
・鴨川市地域公共交通会議委員の委嘱について

２　**会長及び副会長選出**　座長　経営企画部まちづくり推進課 塚越課長

・会長を小柴委員、副会長を竹井委員とする指名推薦があり、承認される
・会長より挨拶

（会長挨拶要旨）

引き続き本会議の会長を務めさせていただくこととなったので、よろしくお願い申し上げる。

本日は、ご多用にも関わらず、本会議に出席いただき、また、引き続き本会議委員を引き受けていただき、感謝申し上げる。事務局から説明があったとおり、来年度の会議においては、次期鴨川市地域公共交通網形成計画策定に向けた本市にとって最適な公共交通網の検討など、非常に重要な議案について協議いただく予定としている。今後とも、ご協力をいただくよう、よろしくお願い申し上げる。

なお、本日の会議では、高速バス実証運行の実績について、ご報告申し上げる。また、予約制乗合タクシー実証運行計画の見直し案について、ご協議いただきたい。

詳しくは、事務局から説明があるが、忌憚のないご意見をいただけるようお願い申し上げ、会議の冒頭に当たっての挨拶とさせていただく。

３　**議事**　議長　小柴会長

会長を議長として進行。
会議録署名人として、矢代信博 委員を指名。

報告案件１　高速バス実証運行の実績について
（事務局から、資料１に即して説明。）

※委員からの質問３件、意見２件あり

洲永委員：年末年始を跨いでの実証期間であったが、高速バスの利用目的は把握しているか。

事 務 局：利用目的等を把握するためのアンケートを実施し、2,000票以上の回答をいただくことができた。このアンケートとともに、曜日ごと、便ごと等に集計した運行実績についても分析を行い、次回の会議でその結果を報

告する予定としている。

洲永委員：実施時期についても考慮することで、より多くの利用が期待でき、参考となる分析結果が得られたのではないか。

手塚委員：天津小湊地区の移動困難者にとっては、高速バスの最寄りのバス停が亀田総合病院のため、家族の送迎がなければ利用すること自体が難しい状況であった。

議　　長：この利用実績を見て、バス事業者の視点から、土田委員のご意見をいただきたい。

土田委員：１便当たりの利用者数は、アクシー号と比較すると少ないが、渋谷線と比較すると多い。

議　　長：土日の利用が多いのか。

土田委員：鴨川シーワールドでの乗降は土日、亀田総合病院での乗降は平日が多かった。また、利用者数は想定より多かったが、鴨川への観光客が最も多い夏期に実証運行を実施することや、袖ケ浦バスターミナルでのアクセスについての周知を強化することで、利用者は更に増えたのではないかと考えられる。

事 務 局：実証運行期間を夏期ではなく令和元年11月から令和２年１月までとしたことについては、地方創生推進交付金の活用や許認可に要する期間等のスケジュールに制限がある中で、当該路線の利用特性を踏まえ、長期休暇がある年末年始に利用が多く見込まれることから、この期間に実施したものである。なお、運行日を土日のみとし、より長期間実施することも検討したが、分析に当たっては、平日のデータも必要であることや事業費の関係もあり、３か月間の実施とした。

また、土田委員のおっしゃるとおり、袖ケ浦バスターミナルでの乗換利用が想定よりも少なった。市の広報誌等で実際の利用例を挙げるなど、周知を図ったが、利用増には繋がらなかった。今後も、多方面とのアクセスが可能となるバスターミナルでの乗換利用について、より一層、周知・ＰＲを図り、その利用を促進していきたいと考えている。

協議案件１　予約制乗合タクシー運行計画の見直し案について

（事務局から、資料２、資料３、資料４に即して説明。）

※委員からの意見１件あり

本多委員：運行事業者である㈲鴨川タクシーとしては、利用が少ないことについて、公共交通を利用することが根付いていない長狭の地域性に因るところが大きいと考えている。生活支援サービスについては、事務局の説明のとおり、導入を見送ることとなったが、運賃の引下げや同日の２回目以降の運賃が半額となる新たな割引制度の導入等、令和２年４月から予約制乗合タクシーは更に利用し易いものとなる。次年度からの運行に向けて利用促進を図っていくので、よろしくお願い申し上げる。

事 務 局：買物代行サービスについては、予約制乗合タクシーへの導入は難しいという結論に至ったが、長狭地域だけでなく市内他地域においても要望が多い。大山地区社会福祉協議会では、移動困難者を商店へ送迎する買物

支援を月２回実施しており、市としても福祉の面から生活支援を充実させていきたいと考えている。

↓

資料のとおり承認

**４　その他**

遠山委員：ＪＲ東日本千葉支社では、令和２年３月14日にダイヤ改正を予定しているが、特急を含めた外房線、内房線の運行本数については現状維持となっている。

**５　閉会（午後３時15分）**

**以上**

---

令和２年３月24日

会議録署名人　　矢代　信博